

「カーボンニュートラル広報大使」に任命されました!



カーボンニュートラルとは、人が活動することで発生する「温室効果ガス(※)」から、森林などが吸収する量を差し引いて実質ゼロにすることです。そのためには、発生する量を抑えることが重要です。市は市民の皆さんや企業などと連携してさまざまな取り組みを進めています。

※大気中に含まれる二酸化炭素やメタンなどの総称で、地球温暖化の大きな要因の1つとなっています。

自然と調和した暮らしやすいまちをつくりま

車に頼り過ぎない、歩く人にとって暮らしやすい自然豊かなまちづくりに取り組みます。鉄道やバスなど公共交通の利用の促進や、省エネ住宅・ビルの建設、自然エネルギーの活用を図ります。

私は、先進的な低炭素街区に住むことを選びました。自然エネルギーや省エネ技術を取り入れた住宅に住むだけでなく、住民がまちづくりに参加して「みんなでつくる・使う・育てる」ゼロカーボンなまちを目指しています。



城野ひとまちネット 住民コミュニティ部会 部会長 坂本 佐起子さん

自動車の電動化を進め クリーンなまちにします

自動車、バスなどの動力源を電気モーターに変えていきます。自動車産業も盛んな本市は、自動車の電動化を積極的に進め、環境保全と経済成長の両立を目指します。

今、まちで走っているディーゼルバスをEV(電動)バスに切り替えることで、走行時に排出する二酸化炭素の量がゼロになります。EVバスは臭いもなく静かで快適、災害時には動く蓄電池としても活躍します。



㈱EVモーターズ・ジャパン 甲斐 実菜美さん

2050年のまちのイメージ



みんな、できることから始めよう。北九州市がもっと素敵なまちに変わるよ!

できることから始めよう、暮らしを脱炭素化する「ゼロカーボンアクション30」!



ひとりひとりができること
**ゼロカーボン
アクション30**

「ゼロカーボンアクション30」とは、衣食住や移動、買物など暮らしの中で二酸化炭素の削減に取り組むことができる30の行動です。皆さんも暮らしの中で、できることから始めてみましょう!

〈ゼロカーボンアクションの例〉

- 宅配サービスをできるだけ1回で受け取ろう
- 食べられる量を注文し、食べ残しは持ち帰ろう
- 植林やごみ拾いなど、環境保全活動に参加してみよう
- 近い距離はできるだけ歩いたり、自転車を使ったりしよう



◀環境省ホームページ「ゼロカーボンアクション30」はコチラから

この特集の問い合わせ
企画調整局企画課
☎582・2174

リメイクしてゼロカーボン!

〈文化大使〉
作家 町田 そのこさん
2021年「本屋大賞」受賞



©中央公論新社

部屋着は着慣れたものがリラックスできる、という理由もあるのですが、袖口や襟元などのほつれを繕って着ています。時にはアップリケを使って生地を補強します。手をかけるほど愛着が湧いてきますね。